

NPO法人 介護サービス非営利団体 ネットワークみやぎ



目的 介護が必要な人にとって、安心して介護サービスを受けられることが最も大切です。私たちは、知恵と力を合わせ、良質な介護サービス提供と健全な事業運営のためにネットワークをひろげ、もって要介護者と介護者の人権擁護（尊重）、地域住民の福祉向上に資することを目的とします。

《2007 年度第 1 回理事会報告》

2007 年度第 1 回理事会が 2007 年 5 月 18 日（木）、13 時 30 分から介護ネットみやぎ事務所において理事 8 人 監事 1 人の出席で開催されました。

「情報の公表調査事業」「2007 年度第 1 回実務担当者会議」「職員の新規採用」についての 3 件が報告されました。「2006 年度事業報告および決算報告」「2007 年度事業計画（案）および収支予算（案）」「理事の追加の選任」「総会決議（案）」「2007 年度介護ネットみやぎ総会企画」について審議し承認されました。その他、2007 年度介護ネットみやぎ総会スケジュールと年間会議予定が確認されました。

《2007 年度第 1 回実務担当者会議報告》

2007 年度第 1 回実務担当者会議が 2007 年 4 月 12 日（木）フォレスト仙台 501 にて開催されました。13 時半から 15 時までは実務担当者第 1 回拡大学習会（詳細は P 2 参照）で参加者 33 人、会議は 15 時から 16 時で出席者 19 人でした。

「2006 年度第 5 回理事会報告」「情報の公表経過報告」のあと、今年度実務担当者会議スケジュールを決めました。会議日程の中に学習会を組み込む予定です。

2007 年度総会における記念講演の内容は事務局より 3 案提案されました。グループゆうさんより介護の場で人材が育ちにくい現状を訴えたいとの意見も出ましたが、こちらは運動課題として長期的に考えていく事とし、演題は事務局に一任されました。

《2007 年度総会のお知らせ》

日時：7 月 12 日（木） 13：30～16：30

場所：フォレスト仙台 2F 第 1・2 会議室

日程：第一部 総会 13：30～14：30

第二部 記念講演 14：45～16：15

「市民後見人の

これからの果たすべき役割」

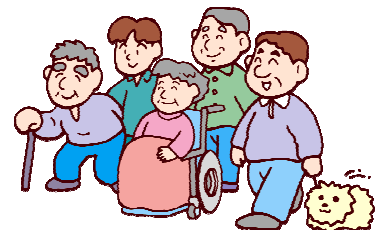
講師 未定

※ 記念講演参加ご希望の方は
事務局へお申し込み下さい。

NPO 法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ

事務局 〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 3F

TEL 022-276-5202 ・ FAX 022-276-5205



介護ネットみやぎ参加団体 宮城県生活協同組合連合会・みやぎ生活協同組合・生活協同組合あいコープみやぎ・松島医療生活協同組合・全国労働者共済生活協同組合連合会宮城県本部・みやぎ県南医療生活協同組合・JA宮城中央会・財団法人宮城厚生協会・宮城県高齢者生活協同組合・社会福祉法人仙台ビーナス会・社会福祉法人こーぷ福祉会・社会福祉法人宮城厚生福祉会・特定非営利活動法人ゆうあんどあい・特定非営利活動法人WACまごころサービスみやぎ・特定非営利活動法人ひまわり・特定非営利活動法人ほっとあい・特定非営利活動法人グループゆう・協同組合日専連仙台・宮城県民主医療機関連合会・宮城県労働者福祉協議会・宮城県医連事業協同組合

● 2007 年度実務担当者第 1 回拡大学習会報告

2007 年度第 1 回実務担当者会議と同時開催で、実務担当者第 1 回拡大学習会が 2007 年 4 月 12 日（木）13 時 30 分から 15 時まで、フォレスト仙台 501 号室にて開催されました。演題は「福祉用具貸与事業者・ケアマネジャーの福祉用具貸与サービスにおける必要な視点」、講師は宮城県介護研修センター主任主査で作業療法士の大場薫さん、受講者は 33 人でした。

利用者からの要望がはたして適切なニーズであり、解決すべき課題になるのかどうかを見極めることは大変重要ですが、ケアマネジャーや福祉用具貸与担当者のどちらが課題を見極め責任を持つか曖昧です。そんな中で大場さんは、利用者の身体的精神的状況、住宅環境などあらゆる面に配慮して、その人にあった福祉用具を見出したり、工夫や改良を重ねて使い勝手を良くしたりと、生活の場を広げていくお手伝いをなさっています。実に 1 ミリ単位の世界ですから、福祉用具の世界は身体的知識を持つリハ専門家と用具についての知識を持つ用具関係者の連携が大切ですが、多くはそこまでできていないのが現状です。

更に、介護サービスの事業者は多くの情報を収集しながら制度上の問題とも向き合い、介護保険・自立支援法など各方面の制度を駆使していく視点も必要です。

大場さんの輝く目を見て、福祉用具を必要とする方に明るい光が差し込む情景が目に見えようでした。

質問に答えて

①事業所内に利用者の身体能力や環境を適正に評価できる担当者がいません。身近な窓口がありますか？

現状ではありません。病院のリハビリは治療重視だったところから、在宅に重さが置かれるようになり、ニーズが増えるとともに福祉用具もわかる PT（理学療法士）や OT（作業療法士）の養成が進んでいます。訪問リハや通所リハとの関連もできてくるでしょう。

②頸椎症があり握力弱く、大腿骨骨折で要支援 2 になった利用者さんに車椅子を使いたいのですが、主治医の意見書がどのように書かれたら利用できるようになるのでしょうか？身障 2 級、ほんのちょっと歩けます。

介護保険と自立支援法と両面から考えていって、介護保険は無理でも身障手帳があれば、等級関係がなくなったのでこちらで利用できるかもしれません。ただし診断書費用はかかります。

③利用者からウォッシュレットや暖房便座付のポータブルトイレの希望があり、A 市に福祉用具貸与を頼んだところ装飾品になるので認められませんでした。厚労省で認定基準を見直してから B 市では認められています。地域格差があっているのでしょうか？

介護保険なら利用できます。自立支援法は上限がありウォッシュレットは認められません。介護保険と自立支援法とどちらが使いやすいかということもありますが、介護保険優先となっています。

宮城県介護研修センターの概要

1. 設置主体 宮城県
2. 経営主体 社会福祉法人
宮城県社会福祉協議会
3. 事業開始 平成 6 年 4 月 1 日
4. 事業内容
 - ① **介護実習普及事業 ⇒ 一般向け介護研修・専門研修**
県民が学ぶことができる「介護講座」を準備しています。
 - ② **介護機器普及事業 ⇒ 福祉用具の情報提供**
お年寄りや、体の不自由な方の自立した暮らしを応援するとともに、介護する方の負担を少なくできるように福祉用具の展示と介護・住宅改修等の相談を行っています。
 - ③ **介護支援者の養成 ⇒ 委託研修**
宮城県より委託され、福祉従業者を対象に介護支援者の養成を目的としたより専門的な研修を実施しています。
 - ④ **生活支援機器開発企業・福祉連携事業**
福祉機器の開発に必要な情報を広く会員企業に提供し、県内の福祉産業の発展に向けて新たな仕組みの構築を目指しています。
 - ⑤ **介護情報提供事業**
お年寄りの介護等に関することについて図書・ビデオをそろえ、無料で利用できます。

● 「情報の公表」調査員倫理規程を策定

「介護サービス情報の公表」調査員は、介護サービス事業所の調査において、調査項目の確認のために、様々な書類の提出を求めます。そのひとつに「倫理規程」があるかどうかの確認をします。調査をするうえで、調査員の倫理的責任は大きいものがあります。そこで、調査員がワークショップを行い倫理規程をまとめました。

<介護ネットみやぎの基本理念>

私たちは、いつでも、だれでも安心して暮らせる社会をめざしています。介護が必要な人にとって、体のケアだけでなく、心のケアも念頭においた利用者本位のケアプランが作成され、安心して介護サービスを受けられることが最も大切です。私たちは、知恵と力を合わせ、良質な介護サービス提供と健全な事業運営のためにいっそうの研修にはげむとともに情報を共有しネットワークをひろげ、もって要介護者と介護者の人権擁護（尊重）、地域住民の福祉向上に資することを目的とします。

<調査員倫理規程>

1. わたしたちは、介護ネットみやぎの基本理念にもとづき行動します。
2. わたしたちは、法令を遵守し、個人情報やプライバシーを守ります。
3. わたしたちは、公正・中立な視点と態度で調査をします。
4. わたしたちは、信頼されるマナーや接遇を心がけます。
5. わたしたちは、制度や業務についての理解を深めるため、研鑽に努めます。

● 2007年度情報の公表調査実務向上検討委員会の立ち上げ

この間、調査の手順、調査項目の解釈の仕方など事務局が検討し提案するというやり方を行ってきましたが、「情報の公表」について、より深い理解をしている『「情報の公表」調査員指導者』の資格を有するかたを委員とし、実際調査現場で起こりうる課題や、調査員研修の持ち方について検討する機関として向上委員会を立ち上げました。

- ・委員長 渡邊礼子
- ・委員 入間田範子 佐々木真由美 佐藤静江 松浦洋子
- ・事務局 芳賀紀子

検討課題

- 1、「情報の公表」調査員の心得 —信頼される調査員として—について
- 2、「情報の公表」調査の実務手順書について
- 3、緊急対応マニュアルについて
- 4、調査項目対応マニュアルなどについて
- 5、調査員研修について



● 2007年度 介護ネットみやぎ年間会議予定

※会場はフォレスト仙台です

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
理事会	5月18日(金) 13:30~ 3F	7月12日(木)	10月11日(木) 13:30~ 2F 第8会議室	12月13日(木) 13:30~ 2F 第8会議室	2008年 3月12日(水) 13:30~ 2F 第8会議室
実務担当者会議	4月12日(木) 13:30~ 501	6月21日(木) 13:30~ 501	9月13日(木) 13:30~ 501	11月16日(金) 13:30~ 501	2008年 2月14日(木) 13:30~ 2F 第6会議室
推進委員会	5月25日(金) 13:30~ 501	12月19日(水) 13:30~ 3F	3月14日(金) 13:30~ 3F		
調査員研修会	5月25日(金) 10:30~ 501	7月27日(金) 10:30~ 501	9月28日(金) 10:30~ 501	11月30日(金) 10:30~ 501	2008年 1月25日(金) 10:30~ 501
総会	7月12日(木) 13:30~ 2F 第1第2会議室				
学習会 グループゆう共催 講師 佐藤ちよみ	情報の公表において介護サービス事業所として必要な帳票類およびこころがまえ 訪問介護 6月27日(水) 11:00~17:00 2F 第7会議室 居宅支援 11月9日(金) 11:00~17:00 2F 第7会議室				

● 2007年度 介護ネットみやぎ 介護サービス「情報の公表」調査事業所数(予定)

	青葉区	太白区	宮城野区	若林区	泉区	仙台近辺	仙南地域	大崎市	県北地域	石巻地域	気仙沼本吉	計
6月	2	0	2	0	0	4	2	0	7	3	0	20
7月	6	4	4	4	1	4	12	1	15	9	4	64
8月	2	4	3	1	4	2	13	1	11	10	6	57
9月	5	5	2	5	6	4	15	0	13	10	0	65
10月	5	5	5	2	5	10	11	4	9	8	0	64
11月	5	2	4	7	3	10	6	3	8	4	4	56
12月	11	13	5	4	5	4	4	6	0	0	2	54
08年1月	13	2	4	4	6	3	4	3	1	0	0	40
2月	6	6	2	6	2	4	0	1	0	0	0	27
3月	1	2	3	0	1	0	0	0	0	1	0	8
計	56	43	34	33	33	45	67	19	64	45	16	455

仙台近辺(多賀城市・塩釜市・名取市・宮城郡) 仙南地域(岩沼市・白石市・角田市・柴田郡・刈田郡・亘理郡)
 県北地域(栗原市・登米市・黒川郡・加美郡・遠田郡) 石巻地域(石巻市・東松島市・牡鹿郡)